|  |
| --- |
|  2022第1,2,3 RUTC答え24(36)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net |
| 2022年9月3日～ 9月4日週間祈りカード |
| △産業宣教/教授チーム主管産業人の旅程(残りの者)(イザ1:9) | △レムナント伝道学OMC 奨学生修練会1講レムナントの旅程(イザ6:1-13) | △核心/ OMC 奨学生修練会2講伝道者の旅程(残りの者)(マタ24:1-14) | △散らされた弟子たち/OMC奨学生修練会3講散らされた者の旅程(残りの者)(使11:19) |
| もしみなさんがいなければ、大学には福音が入らないだろう(イザ1:9)□序論\_福音を持っている教授の現住所(私の福音-私が必ず守らなければならない福音)1.学問が産業、次世代とつながる2.御座の祝福-この祝福を味わうときに来る三つのこと1) Only-ただ　2) Uniqueness-唯一性　3) Re-creation -再創造3.未来-すでに持っていること1) WITH -神様のすべてを持っている。味わいなさい。　2) Immanuel3) Oneness(計画) -みなさんがする、すべてのことが神様の計画を成し遂げるワンネスになる。JX-これを持って待てば来る。直接、イエス・キリストを説明しなかったのに影響が与えられる。□本論\_次世代残りの者養成1.絶対答えの主役-絶対答えはどこでもある。とても簡単なところにあって誰もしないので、もっとやりやすい。一生を置いてしなければならない絶対答えを見つけたこと(本文)1)絶対主権を先に信じることだ。2)絶対計画をいつも質問しなければならない。3)絶対契約(答え)がくる。4)絶対旅程(道)を行くことができる5)絶対目標(いのち運動)が見える。2.光に関する約束-生かすこと。やみに光を照らせば、やみの中にいる人々が来る。△福音を持っているので、この現住所の中で絶対計画だけ見つければ人々が光に出て来る。1)ソドム、ゴモラ-残りの者がいなければ　2)イザ2:5主の光に歩もう3)イザ6:13この光の根がキリスト、そこから出てくる新しい芽がレムナント、切り株がみなさん4)イザ7:14光の根源はキリスト、目的はインマヌエル5)イザ60:1-2主の栄光があなたの上に臨んでいるので、光を放ちさえすればよい。3.握ること24、25、001)イザ40:6-8神のことばは永遠に立つ。2)イザ40:10-26(むなしいこと) -偶像に陥っている人々を救い出す、生かすこと24をしなさい。3)イザ40:27-31神様が力を与えられる。(1)残りの者-身分、権威　(2)残る者-力(3)残れる者-文化征服　　(4)残す者-次世代を生きかすこと□結論\_三種類すること1.黙想運動モデル-私はどのように祈るか持っていれば良い。2.霊的作品が出てくる。3.Think Tankになる。 | △OMC奨学生が必ず握るべきことは「私」の現住所だ。□序論\_旅程　祈りのシステム1.御座の力を味わうには祈りのシステムを作り出さなければならない。2.御座の力が臨めば神の国のこと(学業、職業、産業)が成り立つ。3.目的-神様の目的二つ既成世代が知らない、現場Eliteや指導者が見つけられないことを見つけた。△これがOMC奨学生の現住所の「始まり」だ。□本論\_私の旅程システムを作りなさい(いつでも、誰でも)1.準備(イザ6:1) -御座の力を持って行きなさい。これが祈りだ。△私、現場、職業を御座化しなさい。2.重要な背景1)セラフィム2)問題、困難、大変な状況の中で神様の栄光が満ちていることだけ見れば良い。3)主の栄光と能力、力が必要だ。(イザ6:4)3.理由を知らなければならない。1)当然、苦しみに遭うだろう。2)権利までみな奪われるだろう。3)聖なるすえ(区別された種)は残るだろう。(切り株、RT)□結論Exit-何から抜け出さなければならないのか分かれば、Gate -本当に握らなければならない門が何であるかを知るようになる。 | 多くのことが起こるが「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」みなさんは問題を好きでなければならない。□序論\_現場1.奴隷、捕虜、属国、流浪(理由) -すべて道しるべ2.解放-(内容)-時刻表 – どんな内容を握ったとき、神様は解放させられたのか3.ネフィリム文化(世界化)征服-世界化されているネフィリム文化を分かってこそ征服するので、私たちを呼ばれた△問題は更新の機会、限界を倒すこと□本論\_現場旅程(2030～2080主役)1.変えること1)マタ1:18-25(キリスト) -昔も今も、これからも、私たちとともにおられるキリストの奥義は全く同じだ。鍵であるイエス・キリストの御名をいつでも使えば良い。2)マタ5:1-12(まことの幸い) -神の国があなたの相続地、その慰めを受けるだろう。3)マタ6:33(まことの祈り) -神の国とその義とを求めなさい。御座の祝福と力と背景、三位一体の神様を祈りなさい。繰り返してみなさい(集中)。4)マタ10:1-42(現場) -現場はすべて衣食住しか知らないということを見せられた。5)マタ13(伝道) -私たちが持っている種はいのちであるから、大きなことに変わる。宝の畑、すばらしい値うちの真珠6)マタ18:1-10ポジションのことを言う人はしばらく用いられる人7)マタ24:1-14(歩み) -福音が宣べ伝えられた後に終わりがくる。伝道者とレムナントの歩みは歴史を動かす歩み8)マタ28:1-15苦難-キリストが十字架にかかられることによって、すべての苦難を終わらせられた。9)マタ28:16-20権威-復活された主が、天と地の力でともにいると約束してくださった。2.見つけこと1)カルバリの丘(始まり)-完了した。すべての問題は始まりだ。2)オリーブ山-待つ時刻表。方向は神の国3)マルコの屋上の間-まことの力を回復する、どんな問題きても勝つことができる祈りを見つけなさい。3.味わうこと1)残りの者(悟るまで苦しみ、悟る瞬間、答え)2)巡礼者(道を進まなければならないと、すべてを超越)3)征服者(暗やみ征服)□結論黙想運動　霊的作品　Think Tank -黙想運動する霊的作品でこそ、ネフィリムを止めることができる。ネフィリムを生かすことができる霊的作品でこそ、世界福音化が可能だ。それをできる人が集まらなければならない。教授とともに次世代のための準備をしなさい。 | □序論\_ 3・9・3考えていなければならないこと3・9・3.このようになれば、1.奴隷、捕虜、属国、流浪になった散らされた者の目標が見える2.第1-5 RTUC運動の目標が見える3.非対面対面化(237、メディア)祝福によって散らされた者の主役(ヨハ16:24)□本論1.始まり-時空超越1)使1:14時空超越の答えを持っている人々2)使2:1-47時空超越のこと3)使3:1-12、8:4-8どのように「その御名で」4)使9:1-155)使11:19、12:1-25 「その日の夜に」2.ターニングポイント-御座の力1)使13:1-4御座の力から味わったところ、5-12このことが2)使16:6-10御座の力を味わったので、16-18占い師をいやす3)使19:1-7マルコの屋上の間に起こった働きを受けたら、8-20エペソに驚くべき働き3.終着駅-　237 - 50001)使19:212)使23:113)使27:24□結論\_克服1.学問、理論を超越する実力があるべき2.思想、理念超越してこそ彼らを生かす3.間違った教会　教会はキリストを御座化させる所 |
| 2022第1,2,3 RUTC答え24(36)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net |
| 2022年9月3日～ 9月4日週間祈りカード |
| △区域メッセージ教会運動と私の24(使2:42、5:42) | △聖日1部礼拝みことばによって私と世の中をいやそう(ヨハ1:1-18) | △聖日2部礼拝 罪と呪い、災いの問題を解決しよう(ヨハ1:19-34) |
|

|  |
| --- |
| 御座、神の国、神の国のこと伝達 |
| マタ6:32-33 |

△教会に対する正確なことを知るようになれば私の24が出てくる。教会は御座の祝福が臨む影であり、神の国が成り立って、神の国のことを伝達することだ。それゆえ「だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」と言われた。(マタ6:32-33)□序論\_危機御座、神の国、神の国のこと伝達を知らないので世界教会危機1.人中心-人中心に信仰生活すると、人に左右される。2.世の中中心-教会は世の中中心でなく、神様中心にしなければならない。3.思想中心-人が作り出した思想中心で信仰生活をすることになる。□本論1.教会の本質-三位一体の神様が臨在されるのだ。1)救い(Iコリ3:16) -教会の本質を救いに置いたのだ。2)集い-救われた人の集いが教会だ。　3)現場-私たちが行っている現場も教会だ。4)礼拝堂-私たちが集まる礼拝堂も教会だ。5)天国-天国も教会だ。2.姿-正しい教会の姿が三つ出てきた。1)マルコの屋上の間教会-ものすごいヘロデ神殿よりマルコの屋上の間がさらに正しい教会であった。2)アンテオケ教会-宣教迫害される人々が集まって完全に宣教する教会として建てられたのだ。3)ローマ(Iコリ16章、コロ4章、ロマ16章)ローマ福音化をしたIコリ16章、コロ4章、ロマ16章の人々が教会の姿だ。3.注意、見つけること1)注意-世の中こと(サタン12)教会の中にサタンの12の戦略を持って入ってきて創3章の私だけしか知らずに、私だけよくなって、私だけ成功すれば良いということがとても多い。2)見つけること私たちが見つけることは「ただキリスト、ただ神の国、ただ聖霊」だ。このことだけ祈りなさい。□結論1.知識(みことば)-私も分からない知識が神様のみことばを通して臨む2.力(神の国) -自分も知らずに礼拝を正しくささげたが、神様の力が私に臨むことが神の国だ。3.証拠(証人) -教会が何か知って礼拝をささげたが証拠が起きて証人になるのだ。△人々に最も必要なことが「御座、神の国、神の国のこと、マタ6:32-33」の祝福だ。ある日、神様のみことばが私と合えば働きが起こり始める。さらに重要なことは、私たちの次世代、子どもにこの力を伝達しなければならない。幼いとき、この祝福を一度も見ないで外に出て行けば苦しみに遭う。 | □序論\_信仰生活を上手にする、答えられる方法1.立派な人々だったが戦争、滅亡直前のローマとイスラエル2.ヨハネ-このときに現れてヨハネ福音書を残した3.イエス・キリストの御名「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」イエス・キリストの御名、ものすごいのだ。□本論1.永遠の御座の門を開ける鍵となる御名1)鍵となる御名(1)マタ1:23イエス様の名前がインマヌエル(2)マコ16:17この御名で悪霊につかれた者をいやすことができる。(3)ヨハ14:14神様が鍵をくださった(4)マタ16:19 「天国の鍵をあなたに与える」(5)ヨハ3:16 「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された」恵みだ。2)キリスト御名によって(1)ヨハ14:16 「わたしの名で助け主聖霊をあなたがたに送ります」(2)ヨハ17:11 「わたしに下さっている主なる父の御名」(3)使2:21 「主の名を呼ぶ者は、みな救われる」(4)使3:6 「ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」(5)使4:12 「天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていない」(6)使9:15 「わたしの名を」3)万物を従わせる御名(ピリ3:21)2.私と世の中をいやす契約書の主役になる御名1)その名は神様(1)ヨハ1:1 「この方は、神のとともにおられた」(2)ヨハ1:18 「父のふところにおられるひとり子の神」2)その御名がみことば(1)ヨハ1:1 「ことばは神であった」(2)ヨハ1:2「初めに神とともにおられた」(3)黙19:13 その名は「神のことば」と呼ばれた3)その御名が光といのち(1)ヨハ1:4 「この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。」(2)ヨハ1:9 「そのまことの光が世に来ようとしていた」(3)ヨハ1:10-12 「神の子どもとされる特権をお与えになった」3.その御名は救いとすべての暗やみ問題を解決する証拠1)イエス様の公生涯の働き-長血の女性、バルテマイ、ツァラアト患者、耳の聞こえない者2)ペテロの働き(使3:1-12)-「ナザレのイエス・キリストの名によって」3)パウロの働き(使16:16-18)-「イエス・キリストの御名によって命じる」□結論1.答えの特徴-少しずつしばらくあとでくる。2.イエス・キリストの御名によって-朝(御座の力)、昼(権威)、夜(集中)3.とりなし祈り-キリストの権威ある御名によって | 人々はわざわいに陥っているので、これを解決しなければならない。まったくキリストを知らない未信者がキリストで答えを得て弟子になることが、みなさんに一人だけいても、他の答えが来る。新しく始めるというとき、この契約だけ握れば良い。神様は誰を用いられたのか。□序論\_バプテスマのヨハネ　福音に答えを出した(すべてがくる)　荒野、声、バプテスマ△福音で完全に答えが出て福音の力を味わう人はすべてを生かす。1.バプテスマ-三つのことをなくすサイン(Sign)を与える役割をした1)原罪　2)のろい　3)わざわい→科学、医学が解決できないこと2.3大危機を止める答えが来た。1)ローマ-戦争だけ起こすローマを生かすこと2)属国になったイスラエル　3) 237奴隷制度-これを作ったローマ3.民-福音で答えだけ出したが、民がぞろぞろ従った。1)メシヤなのか　2)エリヤなのか　3)預言者なのか△バプテスマのヨハネは「違う。私は彼の道を備えにきた」と言ってキリストを紹介した。マタ11:11すぐれた者は出なかった。バプテスマのヨハネより偉大だ。実際にキリストに対する説明をしたバプテスマのヨハネ-序論1～3が完全に崩れた□本論\_理由1.未来を備える証人なのでバプテスマのヨハネより偉大。1)AD70-イスラエル滅亡(福音を持っている人が世の中を生かし始め)2)AD79-ポンペイ爆発(キリストの力でわざわいを止める者になること)3)AD313-ローマ福音化△「キリストですべてを終わらせなければならない」考えただけでも働きが起こる。2.道を歩むべき人1) 23節　主の道を備えに来たバプテスマのヨハネ-みなさんは世界の道を歩まなければならない者2) 29節　イエス様を神様の小羊だと言ったバプテスマのヨハネ-みなさんはキリストを王の王、主の主として宣言する人3)水のバプテスマを授けたバプテスマのヨハネ-みなさんは火のバプテスマ、聖霊のバプテスマのお使い3.文化を変える人1)私たちは万人祭司(バプテスマのヨハネは祭司)2)私たちはすべての国の人々に(バプテスマのヨハネはイスラエルにだけ伝えた)3)私たちは霊的文化を変えて世界福音化する人□結論\_キリストのくつのひもを解く資格もない。△キリストの祝福をいつも聞くから分からない。みなさんに最も大きい問題をイエス・キリストの御名で祈ってみなさい。記録しておいて、答えを確認してみれば、みなさんがどれくらい重要な祝福を受けたのかが分かるようになる。この体験を必ずしてこそ、暗やみに勝利する答えを次世代にも与えることができる。 |